

目的 一般社団法人岐阜県建設業協会が定めた「OBサポーター」が、年間を通じ効果的な活動を行うために、県内工業系高校教員との意見交換会を開催する。



効果 建設企業で働く若手技術者等の様々な意見を聞き、その意見を教員の方々がそれぞれの学校に持ち帰り、先輩達が頑張っている姿を生徒に伝えていただくことにより、一人でも多くの生徒が建設業界に興味を持っていただくとともに、この業界に入職していただく一助となることを期待するものである。

- 1 日時 令和3年11月24日(水) 10:30~12:00
- 2 場所 サンレイラ岐阜 3F 大ホール
(岐阜市藪田東1-2-3)
- 3 対象者 OBサポーター(一般社団法人岐阜県建設業協会会員企業に所属する若手技術者)
県内工業系高校教員、
一般社団法人岐阜県建設業協会労働委員
- 4 参加者 42名
- 5 意見交換テーマ 「建設産業への若手の入職促進と定着のために」
- 6 主催 一般社団法人岐阜県建設業協会
- 7 参加者の意見
 - ・仕事量が多いことを解消するには、周りのサポートが重要である。
 - ・最近、女性技術者を現場でみかけることがあり入職が進んでいるように感じられる。
 - ICTの進展やペーパーレス化により、今後仕事量は減少していくのではないかと。
 - ・イメージアップは重要であるが先行しすぎることは、入職後のギャップが大きくなるのではないかと。